

2019 年度 人文学類授業評価アンケートについて

2019 年人文学類 FD 委員会

2019 年度人文学類 FD 委員会では、2019 年度に実施された授業評価アンケートの結果を公開いたしますとともに、問題点や課題を明らかにすることで、人文学類における今後の授業改善に向けて役立てていただきたいと思います。

なお、以下の解答欄に記された数値は、1 科目当たりのそれぞれの選択肢の平均回答割合を示します（合計値 1.00）。最も和入り会いの大きい選択肢をグレーで強調しています。また、「平均得点」は各解答欄の選択肢の番号（1～4 もしくは 1～5）の平均値を示します。

対象学期：2019 年度（第 1 Q～第 4 Q）

対象科目数：人文学類専門科目 98 科目

総受講者数：5,213 名

総回答者数：738 名（回答率 14%）

問 1. 授業への出席状況は、どの程度ですか。

(4) 皆出席	(3) 1～2 回欠席	(2) 3～4 回欠席	(1) 5 回以上欠席
0.64	0.31	0.04	0.06

平均得点 3.31

「(4)皆出席」と「(3)1～2 回欠席」を合わせると 0.95 とたいへん高い割合を示しており、全体的に高い出席率を維持していると言える。

問 2. 1 回（90 分）の授業のために行った予習・復習（授業中に出された課題を含む）の時間は平均してどの程度ですか。

(5) 3 時間以上	(4) 2 時間以上 3 時間未満	(3) 1 時間以上 2 時間未満	(2) 30 分以上 1 時間未満	(1) 30 分未満
0.03	0.08	0.19	0.32	0.43

平均得点 1.93

この設問に対しては、「(1)30 分未満」が 4 割を超える値を示しており、全体に予習・復習の時間が不足している傾向は否めない。演習科目や実習科目などの少人数授業（20 人未満）においては毎回 2 時間を超える予習・復習が行われているものもあるが、それらの少人数授業はアンケート調査の対象科目とはなっていない（アンケート調査対象科目は受講者 20 人以上）。そのため、上記の調査結果は主として大人数の講義科目に主にあてはまるものと考えられる。

問3. シラバスはこの科目の選択や学習中のガイドとして参考になりましたか。

(5)大変参考になった	(4)ある程度参考になった	(3)あまり参考にならなかった	(2)まったく参考にならなかった	(1)シラバスは見えない
0.18	0.65	0.09	0.03	0.13

平均得点 3.69

「(5)大変参考になった」「(4)ある程度参考になった」を合わせると8割以上の学生がシラバスが参考になったとしており、科目選択や学習においてシラバスが一定の役割を果たしていることがわかる。

問4. 全体を通じて授業内容をどの程度理解できましたか。

(4)よく理解できた	(3)ほぼ理解できた	(2)あまり理解できなかった	(1)全く理解できなかった
0.24	0.63	0.15	0.02

平均得点 2.98

「(4)よく理解できた」「(3)ほぼ理解できた」を合わせると全体の9割近い学生が授業内容が理解できたと回答しており、全体に授業内容の理解度は高いと言える。

問5. 授業のスピードは適切でしたか。

(5)速すぎた	(4)やや速すぎた	(3)適切であった	(2)やや遅すぎた	(1)遅すぎた
0.04	0.10	0.83	0.08	0.02

平均得点 3.01

「(3)適切であった」が全体の8割以上を占めており、授業のスピードについては全体としておおむね適切であったと言える。

問6. 授業で用いた参考資料（テキスト・配布資料等）は、授業内容を理解するうえで適切でしたか。

(4)十分に適切であった	(3)ほぼ適切であった	(2)あまり適切でなかった	(1)全く適切でなかった
0.51	0.43	0.09	0.02

平均得点 3.29

「(4)十分に適切であった」「(3)ほぼ適切であった」を合わせると 9 割以上の学生が適切だったと回答しており、授業における参考資料の使用については全体としてほぼ適切だったと言える。

問 7. 授業の水準はあなたが期待しているものから見てどうでしたか。

(5)期待していた水準よりも高かった	(4)期待していた水準よりもやや高かった	(3)期待どおりの水準だった	(2)期待していた水準よりもやや低かった	(1)期待していた水準よりも低すぎた
0.25	0.30	0.42	0.08	0.03

平均得点 3.50

「(3)期待通りの水準だった」が 4 割を占めるが、一方で「(5)期待していた水準よりも高かった」「(4)期待していた水準よりもやや高かった」の合計が 5 割を超えており、全体に学生にとっては期待していた水準よりも（やや）高めの水準の授業内容と受け止められていることがわかる。

問 8. 授業内容に興味を持てましたか。

(4)非常に持てた	(3)まあ持てた	(2)あまり思わない	(1)全く思わない
0.46	0.48	0.09	0.02

平均得点 3.20

「(4)非常に持てた」「(3)まあ持てた」を合わせると 9 割以上の学生が授業内容に興味を持てたと回答しており、全体として学生の興味や関心に答える授業が行われていることがわかる。

問 9. 授業は知識や視野を広げるものでしたか。

(4)非常にそう思う	(3)まあそう思う	(2)あまり思わない	(1)全く思わない
0.54	0.41	0.06	0.03

平均得点 3.35

「(4)非常にそう思う」「(3)まあそう思う」を合わせると 9 割以上の学生が授業は知識や視野を広げるものだったと回答している。この点は人文学から社会科学まで幅広い学問分野を擁している人文学類の特徴が反映されていると考えられる。

<まとめ>

以上の 2019 年度授業評価アンケート調査結果をふまえると、人文学類の授業においては出席や授業内容および授業の理解度については全体に高い水準を維持しているものの、予習・復習などの学生の授業時間外学習については不十分な結果となっており、今後の課題としては学生の時間外学習をより充実させるための工夫が必要になると考えられる。

ただし、冒頭にも記したように、今回の授業評価アンケート調査の回答率は 14%とかなり低く、必ずしも大多数の学生の傾向と一致するとは限らない。そのため、今後の度授業評価アンケート調査においては学生の回答率を高める努力も必要である。